

【人工知能通話を用いた音声問答による認知症判断】 Sevenpointone

①要約：

このアイデアは、スマートフォンを使って電話対話を通じて認知症の早期発見をすることができるソリューションです。これにより、病院への通院や検査の負担を軽減すると同時に、気軽に自宅で認知症の判断ができるようになります。

②目的：

このアイデアの目的は、スマートフォンを利用することで、電話対話によって認知症の判断を行い、早期に発見することです。通常の病院やケアセンターでの検査に比べて手軽で時間とコストがかからないため、より多くの人々が認知症の早期発見につながる可能性があります。

③新規性：

このアイデアの新規性は、スマートフォンを活用して電話対話による認知症の判断を行うという点にあります。既存の類似サービスと比べて、出願日が早く、独自のテスト方法を用いることによって、他社より先行して開発された点が特徴です。

④独自性：

このアイデアの独自性は、スマートフォンを使用して自宅で気軽に認知症の判断を行うことができる点にあります。従来の方法では病院やケアセンターでの検査が必要であり、通院や費用の負担がありましたが、このアイデアによってそれらの問題が解決されます。

⑤経済価値：

このアイデアの経済価値は、通院や検査に比べて費用や時間を節約できることにあります。また、認知症の早期発見により、治療やケアの早期介入が可能となり、医療費や介護負担の削減にもつながります。さらに、スマートフォンを利用するため、幅広い人々が利用できる可能性があり、市場拡大の可能性もあります。